

第3回霊性シンポジウム テーマ「霊的同伴」

「日本の教会における霊的同伴の推進」

～日本の教会のシノドス回答書を受けて～

5月27日（土）10:10-11:10 講演 11:10-11:55 質疑応答

【はじめに】

- ①「ともに歩む教会のために一交わり、参加、そして宣教」というテーマで行われている世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会の歩みの中で

ステージ1：教区ステージ：2021年10月～2022年8月

「第16回世界代表司教会議の日本の教会の回答」（2022年8月15日）

ステージ2：大陸ステージ：2022年8月～2023年3月

アジア司教協議会連盟「シノダリティに関するアジア大陸総会最終文書」
（2023年3月16日）

ステージ3：世界ステージ： ①シノドス総会第1会期（2023年10月）

②シノドス総会第2会期（2024年10月）

- ②教皇庁シノドス事務局から

第16回世界シノドス準備の第3段階に向けて、2023年5月31日（水）聖母訪問の祝日に、聖母の取り次ぎを願いながら、特別な祈りをささげてほしいという要請

- ③「ともに歩む教会」への一つの試み：本日のシンポジウムをおささげしたい。

「日本の教会のシノドス回答書」（2022年8月15日より）

~~~~~

## II. 10の質問についての全国からの意見

### (9)祈りと共同識別

- A. 日本では、おしなべて「識別」という用語に対して馴染みが薄く、現状では識別が定着しているとは言い難い。まず識別とは何であるかを学ぶ必要がある。

その上で、個人の霊的識別を助けるための霊的同伴者が必要であり、その霊的同伴者の養成が求められている。・・・

### III. 今後に向けて

#### 2. 「ともに歩む」ための霊的サポート

- A. わたしたちの信仰が共同体を通してはぐくまれ、培われていくことを再確認する必要がある。そのためには聖職者も含めて、信仰共同体の一人ひとりを大切にし、心を配り、励まし助ける共同体とならなければならない。そのような共同体として成長するために、信仰共同体を支える人、霊的同伴者の存在が必要となる。

~~~~~

④この基調講演の目的

「霊的同伴」を推進していく土台となる基本的な理解（広義での霊的同伴）

1：霊的同伴の土台（基礎）

① 聖霊による同伴

§ イエスが洗礼を受けたとき聖霊が降り、聖霊に導かれて父である神のみ旨を識別し、生涯、それを実践しようとされた（マタ 3,13-17、マコ 1,9-11、ルカ 2 2,42）。

父	「この方は、水と血を通して来られた方、イエス・キリスト
	です。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。
子	聖霊
	そして、霊はこのことを証しする方です」（1ヨハ 5,6）。

§ イエスは、別の弁護者である聖霊の派遣を約束された。

「わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる」（ヨハ 1 4,16）。

§ 洗礼と堅信による恵み：聖霊による同伴

「わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる」（マコ 1,8）。

「聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起させてくださる」（ヨハ 1 4,26）。

② イエスによる同伴の展開

§ 復活されたイエスは、エマオに向かう弟子たちに同伴された（ルカ 24,13-35）。

父

イエス (聖霊) 本人

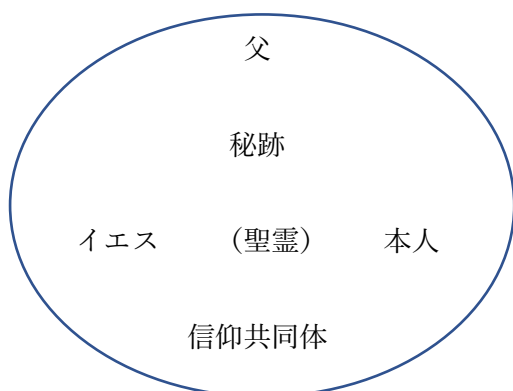
③ 真の霊的同伴者

§ 「二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった」（ルカ 24,16）。

§ イエスが、今も聖霊の働きを通して一人ひとりに同伴される。

④ イエスは、秘跡と聖霊の働きを通して、霊的同伴を続けておられる。

§ 洗礼、堅信、感謝の祭儀（エウカリスティア）、ゆるしの秘跡、病者の塗油、結婚、叙階



§ 同伴されるイエスを身近に感じさせる人

- ・ 「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」（マタ 18,20）。
- ・ 信仰共同体、司祭、代父母、霊的同伴者

⑤ 広義の「霊的同伴」：イエスが秘跡と聖霊の働きを通して続けておられるもの

狭義の「霊的同伴」：それをサポートする（補助する）もの

2：靈的同伴者の助け

- ① 聖霊、あるいは主が、靈的な同伴者を派遣している。

使徒言行録に見られる例

§ エチオピアの宦官に同伴したフィリポ（使 8,26-40）

「すると、霊がフィリポに『追いかけて、あの馬車と一緒にいけ』と言った。」

§ サウロの回心を助けたアナニア（使 9,1-19）

「主は言われた。……ユダの家にいるサウロという名の、タルソス出身の者を訪ねよ。」

§ サウロを使徒たちのもとに案内したバルナバ（使 9,26-30）

§ コルネリスのもとに遣わされたペトロ（使 10,1-48）

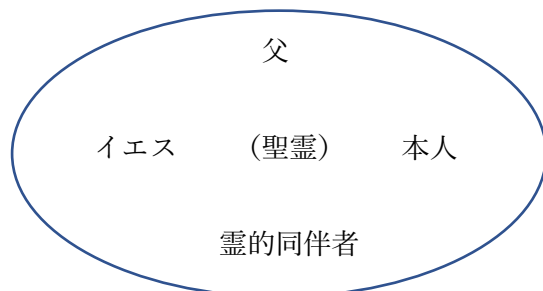
- ② 「ともに歩む」ための靈的サポート

わたしたちの信仰が共同体を通してはぐくまれ、培われていくことを再確認する必要がある。そのためには聖職者も含めて、信仰共同体の一人ひとりを大切にし、心を配り、励まし助ける共同体とならなければならない。そのような共同体として成長するために、信仰共同体を支える人、靈的同伴者の存在が必要となる。

- ③ わたしたちも、誰かの「靈的同伴者」となるよう派遣されているのでは。

わたしたち一人ひとりが、信仰共同体の一人ひとりを大切にし、心を配る「靈的同伴者」となれるよう、聖霊に支えられて、イエスの声を聞き分けよう。

§ 靈的同伴者：本人が、聖霊に導かれて、イエスの声に気づくように助けること。



以上